

2008年12月吉日

**四谷大塚（12/14 実施）合不合判定テスト
全国最多 21,104 人が受験
「混迷する経済情勢の中でも受験者増加」
難関校を目指す受験生が集結**

中学受験の四谷大塚(本社:東京都中野区)は、12月14日(日)、国立・私立中学校を志望する小学校6年生を対象に『(第4回)合不合判定テスト』(志望校判定を行う全国レベルの公開テスト)を実施。受験者数は、中学入試の12月実施模擬試験としては全国最多となる21,104人(昨年12月比515人増加・2.5%増加)が受験しました。

深刻な経済情勢であるにも関わらず、本年の受験者数は増加いたしました。このことは、不況に直面して支出が縮小されたとしても、教育への支出は減らないことを示すだけでなく、むしろ保護者及び受験生は危機が深刻であればあるほど、より未来を見据えた活動=先が見えない今だからこそ、改めて「教育」の重要性を強く認識され、長いお子様の人生を考えたいという選択をされた結果と分析しております。

私たち四谷大塚は、将来を背負っていく小学生たちが「どんな状況においても自分で考えて行動する」、そのために必要な学力向上と人財育成に全力で取り組んでまいります。

① サンデーショックの入試動向は?

2009年は、桜蔭(2/1)と女子学院(2/2)の併願パターンが実現

来春は、東京・神奈川の中学入試解禁日である2月1日が日曜日にあたります。このため女子プロテスタント校を中心に例年試験を実施している1日が日曜礼拝と重ならないようにという試験日設定方針から、翌2日に試験日を移動します。例年と異なる入試日程は併願パターンをがらりと変えるため、最新の入試動向を掴んだうえでの冷静な分析と見極めが大切となります。

例年2/1入試日となっている女子御三家の桜蔭・女子学院・雙葉は併願することはできません。しかし、来春は女子学院が2/2に入試日を移動するため、「桜蔭・女子学院」「雙葉・女子学院」の併願が可能となります。

他にも、フェリス女学院、立教女学院、東洋英和(A)、恵泉女学園、玉川聖学院、横浜共立学園(A)、カトリック校でも横浜雙葉、清泉女学院が例年2/1入試日を2/2に変更します。その変更に対して、例年2/2入試日となっている湘南白百合学園、鎌倉女学院は2/1に変更します。

9月～12月(今回)までの女子学院に対する2/1志望動向、2008.2/1女子学院を受験された442人

の2/2併願校ベスト5と、今回の合不合格判定テストにおける女子学院志望者の2/1併願校ベスト5を一覧表にしました。

試験日の変更を反映し、併願校に大きな変化が見られます。中でも例年は実現不可能な女子御三家の「2/1桜蔭・2/2女子学院」の併願パターンは、260人で志望者全体の29.8%(前回29.6%)と高い割合を占め、「2/1雙葉・2/2女子学院」の併願パターンも、113人で志望者全体の12.9%(前回10.7%)と占有比率を伸ばしています。また、前年入試における後半日程の合格率の低さから、早めに合格を確保したいという現実路線に転換した受験生の動向も《表1》より見る事ができます。特に、吉祥女子では9月時点より志望者全体の割合が3.3%上昇しており、その動向が顕著に現れています。

11月時点まで下降を続けていた、桜蔭、雙葉の占有比率が増加していることが今回の志望動向から読み取れ、強気傾向が見られます。これは①受験する学校＝通いたい学校という昨年からの受験トレンドの継続 ②《表4》から読み取れる女子学院における総エントリー数の回を追う毎の減少から、志望者が絞られていった結果、チャレンジ層の志望校変更が想定され、必然的にその併願校の難易度も上昇することとなったという要因が考えられます。

《表1:女子学院に対する2/1志望動向》

併願校	80 偏差値	9/21 志望者	9月 比率	10/19 志望者	10月 比率	11/16 志望者	11月 比率	12/14 志望者	12月 比率	9月比
桜蔭	70	302	31.8%	280	30.3%	265	29.6%	260	29.8%	-2.0%
早稲田実業	69	46	4.8%	49	5.3%	36	4.0%	37	4.2%	-0.6%
雙葉	67	112	11.8%	106	11.5%	96	10.7%	113	12.9%	1.1%
渋谷教育学園渋谷	66	91	9.6%	87	9.4%	71	7.9%	55	6.3%	-3.3%
鷗友学園女子	62	110	11.6%	117	12.7%	111	12.4%	101	11.6%	0.0%
吉祥女子	62	85	9.0%	99	10.7%	108	12.1%	107	12.3%	3.3%
学習院女子A	61	32	3.4%	28	3.0%	31	3.5%	25	2.9%	-0.5%
頌栄女子学院	60	45	4.7%	50	5.4%	53	5.9%	55	6.3%	1.6%
大妻	59	21	2.2%	19	2.1%	23	2.6%	26	3.0%	0.8%

《表2:今年の受験者・入試結果より》

2008/2/1	併願校	入試日	人数
女子学院 受験者データ 442件(57%)	豊島岡女子学園	2月2日	111
	鷗友学園女子2	2月2日	93
	吉祥女子	2月2日	58
	渋谷教育学園渋谷2	2月2日	30
	白百合学園	2月2日	27

※女子学院受験者776人のうち442人が合不合格判定テストを受験いただき、追跡調査にもご協力いただいています。

《表3:今回実施の受験者・併願パターン》

2009/2/2	併願校	入試日	人数
女子学院 志望者 873名	桜蔭	2月1日	260
	雙葉	2月1日	113
	吉祥女子	2月1日	107
	鷗友学園女子	2月1日	101
	頌栄女子学院	2月1日	55

《表4:志望者推移》

回数	実施日	人数
第1回	9月21日	945
第2回	10月19日	923
第3回	11月16日	895
第4回	12月14日	873

②2009年入試に向かって『(第4回)合不合判定テスト』より

志望者を多く集めた中学校は、男子：立教新座、女子：浦和明の星女子

12/14 実施の合不合判定テストで、志望校として最も多くの受験生を集めた中学校は、前回に続き、男子では立教新座(1/25)が 1,348 人で昨年同時期比 5.9%増加、女子では浦和明の星女子(1/14)が 1,167 人で昨年同時期比 16.2%増加しました。

志望者数全体で見ると(受験者1人の最大志望校エントリーは6校)、1月や2月後半日程の試験が上位に多く名を連ね、試験が集中する2/1・2の日程は少数となります。合わせて近年の受験状況から早めに合格をという家庭も多く、1月中に試験を実施する千葉・埼玉の学校の志望者増加も目立っています。

《表6》からは、女子学院の入試日が2月2日に移動したことにより、従来の併願パターン「2/1 桜蔭・2/2 豊島岡女子学園」が、「2/1 桜蔭・2/2 女子学院」にシフトしたことが表れています。

表の「2008 出願数」は昨年度の実際に行われた入試のデータです。合不合判定テストは、難関校を中心に、実際の入試に近い志望者エントリーが見込めます。その膨大なデータ量が背景となり、精度の高い志望校判定を可能としています。

《表5:男子 BEST10》

	学校名(男子)	入試 教科	入試日	12/14 志望者数	昨年12月 志望者数	増減率	2008年 出願数
1	立教新座	4	1月25日	1,348	1,273	105.9%	2,312
2	芝2	4	2月4日	1,348	1,167	115.5%	1,394
3	市川	4	1月20日	1,154	1,104	104.5%	2,426
4	浅野	4	2月3日	1,143	959	119.2%	2,228
5	渋谷教育幕張	4	1月22日	899	867	103.7%	1,583
6	關成	4	2月1日	808	692	116.8%	1,089
7	本郷3	4	2月5日	771	584	132.0%	770
8	東邦大東邦(前)	4	1月21日	733	645	113.6%	1,519
9	早稲田2	4	2月3日	731	675	108.3%	1,440
10	海城2	4	2月3日	690	663	104.1%	1,182

《表6:女子 BEST10》

	学校名(女子)	入試 教科	入試日	12/14 志望者数	昨年12月 志望者数	増減率	2008年 出願数
1	浦和明の星女子	4	1月14日	1,167	1,004	116.2%	1,868
2	頌栄女子学院2	4	2月5日	877	734	119.5%	571
3	女子学院	4	2月2日	873	549	159.0%	807
4	市川	4	1月20日	622	576	108.0%	1,245
5	豊島岡女子学園	4	2月2日	594	666	89.2%	1,067
6	桜蔭	4	2月1日	559	414	135.0%	561
7	カリタス女子3	2・4	2月6日	499	434	115.0%	303
8	洗足学園3	4	2月5日	478	472	101.3%	599
9	共立女子C	4	2月4日	454	358	126.8%	787
10	田園調布学園2	4	2月3日	434	373	116.4%	696

第一志望者を多く集めた中学校は、男子：早稲田、女子：女子学院

第一志望者のベスト10に入る学校は11月実施時点とほとんど変化がありません。第一志望校は受験生にとって「あこがれ」で、学習に取り組むモチベーションを高める存在です。

早い時期から時間をかけて志望校を厳選するという流れが続いていますが、お客様の将来を見据えた学校選択をなされた結果、揺るぎない第一志望校として信念を貫く家庭が多いと言えます。

また、この時期の第一志望校変更は子どものモチベーション低下を招いたり、過去問題対策に影響を及ぼす可能性が高く、安易に第一志望校の変更はしないという流れができていますと考えられます。

《表 7:男子第一志望者数 BEST10》

	学校名	入試 教科	入試日	12/14 第一志望
1	早稲田	4	2月1日	563
2	開成	4	2月1日	534
3	麻布	4	2月1日	477
4	慶應普通部	4	2月1日	437
5	駒場東邦	4	2月1日	402
6	武蔵	4	2月1日	358
7	海城	4	2月1日	346
8	芝	4	2月1日	341
9	桐朋	4	2月1日	329
10	早稲田実業	4	2月1日	282

《表 8:女子第一志望者数 BEST10》

	学校名	入試 教科	入試日	12/14 第一志望
1	女子学院	4	2月2日	508
2	桜蔭	4	2月1日	417
3	豊島岡女子学園	4	2月2日	293
4	雙葉	4	2月1日	268
5	立教女学院	4	2月2日	240
6	青山学院	4	2月2日	225
7	フェリス女学院	4	2月2日	197
8	香蘭女学校	2	2月1日	185
9	早稲田実業	4	2月1日	152
10	横浜共立学園A	4	2月2日	144

合不合判定テストと実際の出願との相関

開成は「第1志望が筑波大学附属駒場」(約1/3)が多いので、第1+第2志望者合計で試算すると・・・

学校名	年度	合不合 第1志望	合不合 第2志望	A 合不合 第1+2合計	B 実際の入試 出願者数	A÷B 実際の出願者数に 占める合不合受験 者の割合
開成	2007	454	162	616	1,089	56.6%
	2008	534	182	716	1,089	65.7%

(※Bを昨年と同じとした場合)

桜蔭は「2/2女子学院」(サンデーショック時)と併願できるので、第1志望者だけで試算すると・・・

学校名	年度	A 合不合 第1志望			B 実際の入試 出願者数	A÷B 実際の出願者数に 占める合不合受験 者の割合
桜蔭	2007	334			561	59.5%
	2008	417			561	74.3%

(※Bを昨年と同じとした場合)

開成受験者の3人に2人が、桜蔭受験者の4人に3人が今回の合不合判定テストを受験しています。合不合判定テストは、難関校を目指す多くの受験生が参加されているので、まさに本番さながらの入試シミュレーションになっています。だからこそ「合不合判定テスト」受験者の増加ならびに、合格可能性の判定基準は信頼度も高くなります。

参考データ 1:

2008年首都圏(小学6年生)児童数 295,792 人の 17.7%にあたる 52,500 人が中学受験に臨みました。中学受験率・中学受験者数いずれも過去最高を更新しました。

来春の受験者数は合不合判定テストおよび、各模試の受験者状況《参考データ 2》から横ばい(52,500人)から微増(53,000人)を予測しています。

今年首都圏における小学6年生児童数は昨年よりも7,491人(2.5%増加)多く、303,283人です。全国的には少子化の流れですが、東京を中心に、都心回帰による人口流入が続いています。

よって、受験率は人口が増加している分、17.5%へやや低下すると推測しています。

すでに、千葉、埼玉の学校では出願が始まっており、神奈川の学校においても年明け早々より出願を開始する学校が数多くあります。各学校の出願動向にご注目ください。

四谷大塚ではホームページ上 (<http://www.yotsuyaotsuka.com>) で、毎日の出願情報を更新しております。ぜひご利用ください。

参考データ 2:

2007年 実施月	四谷大塚 合不合格判定テスト		日能研 合格判定テスト		首都圏中学模試センター 統一模試		合計	
	受験者数	前年比	受験者数	前年比	受験者数	前年比	受験者数	前年比
4月	12,150	106.4%	12,666	91.3%	10,211	104.4%	35,027	99.9%
7月	14,550	106.2%	14,774	92.1%	14,160	103.4%	43,484	100.1%
9月	20,238	104.6%	14,737	94.1%	16,589	106.4%	51,564	101.9%
10月	20,225	100.9%	16,371	96.5%	17,517	105.2%	54,113	100.8%
11月	21,688	103.7%	15,053	91.1%	16,928	96.1%	53,669	97.5%
12月	20,589	102.1%	16,156	94.2%	18,069	99.4%	54,814	98.8%

2008年 実施月	四谷大塚		日能研		首都圏中学模試センター		合計	
	受験者数	前年比	受験者数	前年比	受験者数	前年比	受験者数	前年比
4月	14,026	115.4%	12,784	100.9%	11,126	109.0%	37,936	108.3%
7月	15,470	106.3%	14,078	95.3%	14,183	100.2%	43,731	100.6%
9月	20,173	99.7%	14,918	101.2%	16,096	97.0%	51,187	99.3%
10月	20,869	103.2%	15,409	94.1%	16,647	95.0%	52,925	97.8%
11月	21,838	100.7%	15,435	102.5%	17,832	105.3%	55,105	102.7%
12月	21,104	102.5%	15,296	94.7%	17,522	97.0%	53,922	98.4%

6年生対象:今年度の実施日程は、

四谷大塚「合不合格判定テスト」9/21(日)・10/19(日)・11/16(日)・12/14(日)

日能研「合格判定テスト」9/7(日)・10/5(日)・11/2(日)・11/30(日)・12/23(火・祝)

首都圏中学模試センター「統一模試」9/14(日)・10/13(祝)・11/3(祝)・12/7(日)

**12/14 実施合不合格判定テスト(第4回)の
80 偏差値及び 50 偏差値一覧(PDF)は、下記をご参照ください。
偏差値一覧以外にも、合不合格判定テスト、保護者説明会(詳細)のほか、
中学受験動向等資料は、ホームページからご覧になれます。**

[四谷大塚 公式ホームページ](#) [四谷大塚ドットコム](#)

※下記をクリックするとファイルが開きます

[【男子】男子 合不合格判定テスト\(第4回\) 50 偏差値及び 80 偏差値](#)
[【女子】女子 合不合格判定テスト\(第4回\) 50 偏差値及び 80 偏差値](#)

■株式会社ナガセについて■

1976年創立。大学受験向け予備校の東進ハイスクール(首都圏を中心に86の直営校)や、全国47都道府県に800校舎を配す東進衛星予備校(フランチャイズ契約)を展開。質の高い授業と独自の学習システムによって、東大現役合格432名(2008年実績)など高い合格実績を実現し、現在では約10万人の現役高校生が通う、日本最大規模の予備校となっています。また、2006年10月からグループ化した四谷大塚(中学受験)ほか、出版事業、東進ビジネススクール(大学生・社会人対象)、また、本年2月よりイトマンスイミングスクールをグループ化し、「社会に貢献する人財を育てる」を教育目標とした教育サービスを幅広く展開しています。

■四谷大塚について■

1954年創立。首都圏を中心に、多数の合格者を有名中学に送り出している学習塾。中学受験最強の教科書“予習シリーズ”、全国最大となる2万人を超える受験生が競う“合不合判定テスト”、首都圏の直営17校舎(2008年10月にあざみ野校舎が開校)での質の高い“レベル別指導”、そして豊富な“教育情報”を提供しています。また、首都圏で定評のあった「四谷大塚」のノウハウを活かして、日本全国の有力塾や東進衛星予備校の加盟校との新ネットワーク「四谷大塚NET」のサービスを、2008年2月から開始しています。

<本件に関するマスコミの方のお問い合わせ先>

株式会社ナガセ 広報部:市村、加藤

〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町1-29-2

電話 0422-44-9001 FAX0422-44-9129

ホームページ www.yotsuyaotsuka.com E-mail pub@toshin.ac.jp